

## （児童発達支援及び放課後等デイサービス事業所における自己評価

# 令和3年度アンケート調査結果報告書

共生型福祉サービス事業所「タップチップス」【児童発達支援・放課後等デイサービス】を利用されている保護者にアンケート用紙を配布した。

記載していただいたものを参考に職員全員で、現状の課題を分析した。

## 課題について

### 環境・体制整備について

日本財団の施設建築プロジェクトに応募をして増築を目指していたが、今回は見送りとなった為、今後も機会があれば積極的に応募を行っていく。

職員会議、研修を業務の質の向上を図るために引き続き行っている。

ホワイトボードを活用することで送迎の伝達事項や情報の共有を行っており、改善点があればその都度改善を行っている。備品や遊具などで児童が怪我に繋がらないように朝礼で毎朝、作成した資料で素読を行い当事者意識も持つように職員間で共有、周知している。

### 業務改善項目について

前年度に引き続き部会活動（研修部会、虐待防止委員会、子供アプローチ部会、送迎部会、食事提供部会、入浴・医療部会、事務請求部会、日用品チェック部会、清掃部会）を行った。

離職者が出了際は部会の編成を見直すなどして、年間を通して滞りなく業務を行う事ができた。来年度は部会の編成も新しくなり新設された部会もあるので、今後はより業務に活かしていくために部会で振り返りや話し合いを行い改善点など把握し活動の質の向上を目指していく。

### 適切な支援の提供について

外部からの研修を予定していたが、コロナ過の為自粛を行っている。今後は外部研修を行い様々な知識、方向性から支援を行っていく。保育士試験等も積極的に受験しており、職員の専門性を向上させている。

支援については個別支援記録を元に支援を行っているが、時間の制限や他の支援（入浴介助や排泄対応）があり、細部まではまだ行き届いていない状況もあるので、職員会議などで職員の意向や支援内容について話し合い、施設の目指す方向性を決めて改善を目指していく必要がある。

第三者評価は実施できていないため課題である。

### 関係機関との連携について

保護者の意向を汲み取り、状況に応じて他事業所や学校等の連携を図っている。情報の共有については朝礼時に報告をして職員間で共有を行っている。今後も引き続き行っていく。

自立支援協議会の医療・児童部会に参加するとともに、自立支援協議会の研修等にも積極的に参加し必要な情報は職員会議等で伝達している。また、直鞍地区地域生活支援拠点等緊急受け入れ事業の説明会にも参加し、具体的に制度が運用されれば事業所として登録する予定である。

## 保護者への説明責任について

全体的な保護者会を12月のイベント（クリスマス会）の時に行っていたが、今年度は新型コロナウィルス対策として保護者の参加はご遠慮していただき、替わりに各保護者へのアンケート調査を行い、その内容を支援に反映させた。

新たな取り組みや活動を行う際は文章で保護者に説明をしている。

活動内容についてはSNSを通じて活動内容等を掲載している。今年度はタップチップ（得点を集めるチップ）を活用した報酬学習を取り入れるなど利用児に合った取り組みを行い実践している。利用児もチップを貰う事で意識的に行動できている場面もあるので、様子を見ながら引き続き取り組んでいく。報酬に関してはまだ改善点があるので今後の課題となっている。行事月間スケジュールをホームページ等を活用してお知らせしている。

## 非常時等の対応について

部会が新たに編成されている為（防災防犯部会、清掃部会）マニュアルを再度見直し変更点があれば改善していく。避難訓練は年2回を予定しており今後行う予定。

虐待防止や身体拘束についても、職員の理解が深まるように定期的に研修を行っていく。

身体拘束が必要な児童については、保護者より「同意書」を取っているが、虐待に繋がらないように細心の注意を払い拘束が必要な際は事前に拘束が必要な理由を保護者に伝え確認を取ってから行うようにしている。

利用時のアレルギーについては、看護士・栄養士を中心に十分配慮をして食事提供を行っている。

利用時が怪我をしたり、怪我をしそうになった時の状況はヒヤリハット、事故報告書に記載し記録を残している。

## 全職員よりの総論

職員が定着してきており、業務や部会、職員会議、研修を通じて基盤が出来てきているが、まだまだ改良していくところは多々ある。今後は支援の質の向上や職員それぞれの専門知識を生かして組織全体で協働し利用児に合った支援を行えるように目指していく。

事業の自己評価や保護者のアンケートを振り返り、部会活動などを通じてよりより支援が行えるように改善を進めていく必要がある。

新型コロナウィルスについては、未だ終息する現状が見えていないため、引き続き手洗い、消毒、マスクの使用送迎車の換気をおこない安心して事業所へ通えるよう引き続き対策を徹底していく。

〒823-0001

福岡県宮若市龍徳字野入1081番地  
社会福祉法人 心誉会  
共生型福祉サービス事業所 「タップチップス」